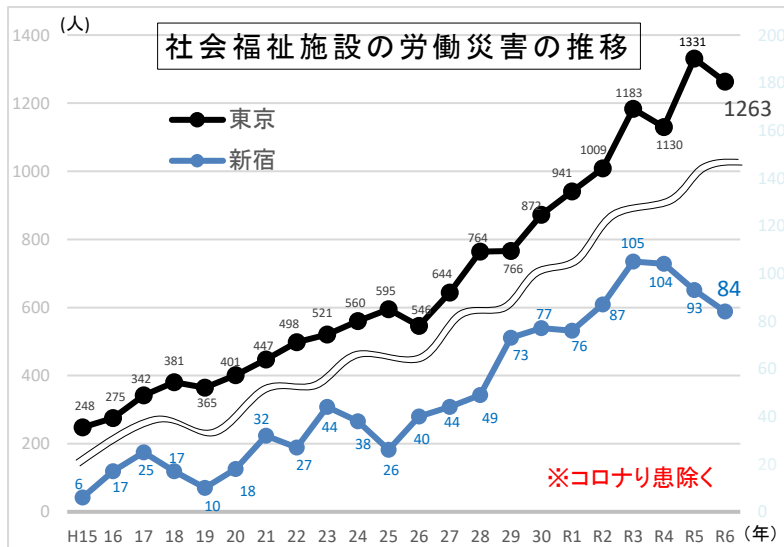


腰痛対策（抱え上げない介護の実現）・転倒対策の強化

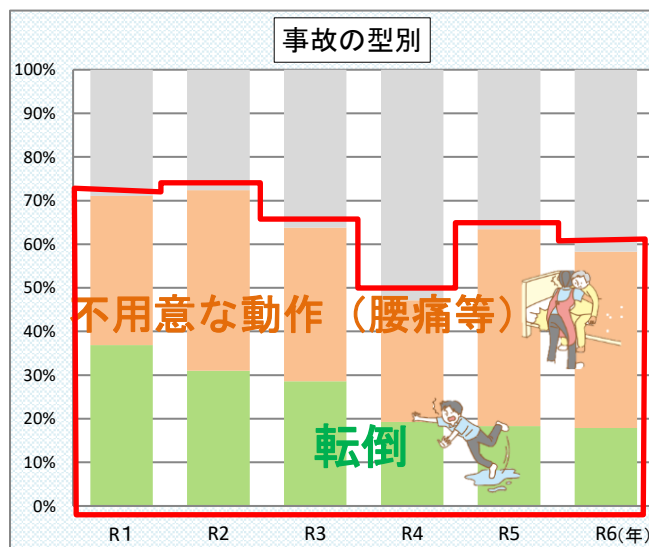
～行動災害防止を中心とした対策の推進～

管内（新宿、中野、杉並区）の社会福祉施設の労働災害の特徴

◇長期的に増加傾向だが、直近3年は減少傾向



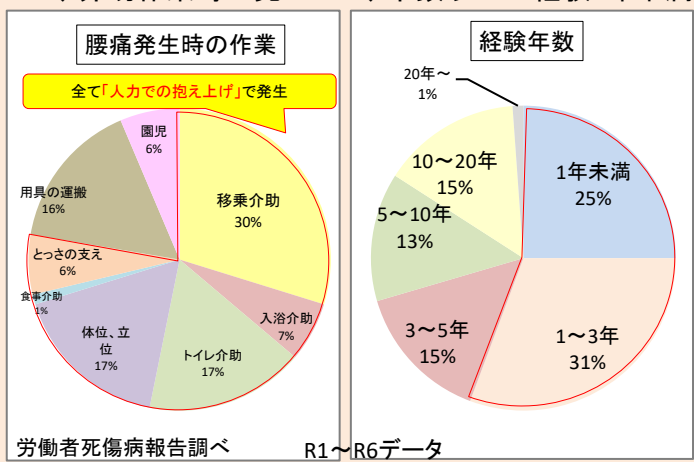
◇管内では転倒、不用意な動作が約5～7割を占める



腰痛災害の特徴

◇介助作業時に発生

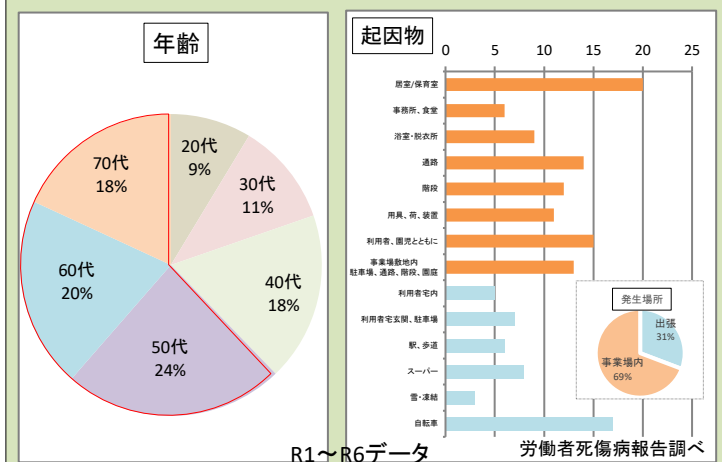
◇半数以上が経験3年未満



転倒災害の特徴

◇高齢労働者に多い

◇事業場外、出張中にも発生



理事長、施設長、園長等の強い意志と一人一人の安全意識の向上

トップの安全衛生方針（表明例）

- 例**
- 策定日 令和 年 月 日
 揭示日 令和 年 月 日
- 安全衛生方針**
- 当社は、「『職員の安全』『利用者の安全』の礎である」との理念に基づき、安全衛生の基本方針を以下のとおり定め、経営者、職員一丸となって労働災害防止活動の推進に努めます。
- 安全衛生の基本方針**
- ① 安全衛生活動の推進のための組織体制の整備、責任の所在の明確化を図る
 - ② 労使のコミュニケーションにより職場の安全対策を講じる
 - ③ すべての職員、パート、アルバイトに安全衛生教育・訓練を実施する
 - ④ 上記の実行に当たっては適切な経営資源を投入し、効果的な改善を継続的に実施する



会社名 (福) ●●会
 代表者 理事長 東京太郎

第14次東京労働局労働災害防止計画推進中

安全の担当者（安全推進者）の配置

安全活動の経験、知識のある者を1名選任し、氏名を掲示
 ＜主な活動は以下＞

- 職場内の作業方法、危険箇所の改善＞**
- ① 職場内の4S活動（整理・整頓・清掃・清潔）
 - ② 福祉機器等の安全な取扱い
 - ③ 床面の凹凸、水等の解消（危険箇所の解消）

働く人の安全意識を向上

- ① 朝礼等で労災防止の意義、取り組みの周知
- ② 安全な作業（腰痛、水漏れ・段差の確認等）の教育
- ③ 危険の周知（見える化）、私の安全宣言

